

施策番号	1605		
施策名	魅力ある介護現場の実現		
概要	魅力ある介護現場の実現のために大学等の介護人材の養成機関との連携や、介護職員に対するキャリアアップの取組を進めるとともに、介護の仕事に対する社会的認知・社会的評価の向上に向けた普及・啓発活動を行う。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京・福祉の研修情報ネットに登録された研修・講座数(件)	c	c	221	156	251	62.2%	e	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		C	C	客観指標総合評価				e	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	216 42.9%	201 39.9%	69 13.7%	12 2.4%	6 1.2%	504	a
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						25 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	e	☐ 市民の実感	a			
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が介護職員や介護に興味を持つ市民に限定されているため、実績が市民全体の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。								
(原因分析) 【客観指標】京・福祉の研修情報ネットに登録された研修・講座数については、平成25年度実施研修の一部を前年度に登録していたこと(期ずれ)に伴う反動減や一時的な掲載取り止めなどにより、登録件数は昨年度を下回り、c→e評価に悪化したが、次年度はこれらの要因による減少は解消する見込み。 【市民の実感】介護職を重要な仕事と認識する割合が8割を超え、昨年度に引き続きa評価となっているが、今後さらなる介護職場の魅力向上が望まれる。							24 年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	介護サービス事業者向け研修等事業	9,330	10,161	良い	保健福祉局
2	認知症介護指導者養成等研修事業	2,030	3,315	普通	保健福祉局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

●今後とも多くの福祉関係従事者や市民の方に福祉に関する知識や技術を高めるため、京・福祉の研修情報ネットに搭載する研修・講座数の充実を図り、介護職員等のスキル向上に向けた支援を行う。

施策名	1605	魅力ある介護現場の実現						
指標名	京・福祉の研修情報ネットに登録された研修・講座数（件）							
担当課	長寿福祉課		連絡先	251-1106				
1 指標の説明 京・福祉の研修情報ネットのホームページに登録された研修・講座数 ※京・福祉の研修情報ネット・・・介護職員等に対して福祉に関する研修・講座情報をインターネットを通じて一元的に提供するサービス								
2 指標の意味 介護職員のスキル向上に向けた支援状況を示す指標			3 算出方法・出典等 算出方法：登録実績 出典：事業担当課調べ					
4 数値								
	前回数値	最新数値	推移	目標値				
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度		
数値	221	156	65件減	251	過去最高値	62.2%		
	全国順位	中長期目標				備考		
		数値	目標年次	達成度	根拠			
数値								
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満			6 基準説明 目標値に対する達成度が100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。 過去最高値：251件（平成22年度）			7 評価結果		
						24	25	26
						c	c	e